



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成29年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成29年2月14日(火)

事業名	東京オリンピック・パラリンピック気運醸成(普及啓発)	予算(案)の概要 130 ページ
予算額	18,843 千円 (新規) (前年度予算額 0 千円)	
取材先	東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部 東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長 菊島 (電話 03-5273-4235)	

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで3年

リオ2016大会が終わり、次の開催都市である東京に注目が集まっています。新宿区は新国立競技場が位置する自治体として、東京2020大会開催とその後を見据えた取組みを着実に推進するとともに、区民が生涯忘れられない、また、次世代に記憶と感動が継承できる事業を実施し、大会開催に向けた気運醸成・普及啓発を図ります。

【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組み】

開催時期を目指して取り組む事業

- ・東京オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発(本ページ掲載)
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツイベント等(次ページ掲載)
- ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の推進(次ページ掲載) など

全 12 事業

東京2020大会を好機と捉えて実施する事業

全 24 事業

上記全36事業の一覧は、予算(案)の概要24・25ページを参照。

東京オリンピック・パラリンピックに向けた普及啓発

東京2020大会開催1000日前イベント

東京2020オリンピック、東京2020パラリンピックの開催1000日前を記念したイベントを開催することで、東京2020大会開催の普及啓発を行います。

東京2020オリンピック開催1000日前イベント 平成29年10月28日(土)
東京2020パラリンピック開催1000日前イベント 平成29年11月19日(日)

(仮称)新宿区東京2020大会区民協議会の設置

東京2020大会の開催に向けて、今後の多岐に渡る情報や取組みについてスムーズな連携を図るため、大学や関係団体等を交えた「(仮称)新宿区東京2020大会区民協議会」を設置します。

【検討内容】

- ・大会に関連する情報共有および連絡調整に関すること
- ・大会開催の気運醸成に向けた区民の自主的な取組みの促進に関すること
- ・新宿区の大会開催の機会を捉えた事業推進に関すること



「東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」連携イベント

【東京都主催】フラッグ歓迎イベントの開催

フラッグの贈呈、アスリートによるトークショー等。

- ①開催日：平成29年6月3日(土)
- ②会場：新宿コズミックスポーツセンター

パラリンピック競技種目体験イベント

フラッグ歓迎セレモニーの開催に合わせ、参加者が気軽に楽しめる様々なパラリンピック競技種目体験イベント等を実施します。

- ①開催日：平成29年6月3日(土)・6月4日(日)
- ②会場：新宿コズミックスポーツセンター等



全校フラッグメモリアルツアー(小学校29校、中学校10校、特別支援学校)

新宿区におけるフラッグツアー開催時、区立小・中・特別支援学校(全40校)を巡り、全校児童・生徒がフラッグを囲んで記念撮影を行います。撮影した写真は、各校全児童・生徒に配付するとともに、パネルを製作して各校に掲出します。

開催期間：6月5日(月)～9日(金) 予定



映画「東京オリンピック」上映会の開催

1964年に開催された東京オリンピックを知らない区民が増えています。東京2020大会開催に向け、前回の東京大会が日本にどのような影響を与えたのかを学び、区民が2020年の大会に夢を抱ききっかけづくりとして、市川崑監督の名作「東京オリンピック」を鑑賞する機会を創出します。

- ①開催日：平成29年6月24日(土)
- ②会場：区立四谷区民ホール
- ③対象：区民、区内中学生、区教職員



事業名	スポーツコミュニティの推進	予 算（ 案 ） の 概 要 128 ページ
予算額	5,381 千円（拡充） （前年度予算額 5,851 千円）	
取 材 先	地域振興部生涯学習スポーツ課長 山本（電話 03-5273-3108）	

東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツイベント等

ボッチャ・ゴールボール指導員養成講座及び体験教室の開催

（予算額 1,088千円）

パラリンピック正式競技である「ボッチャ」「ゴールボール」の普及を行いながら、障害のあるなしに関わらず、区民のスポーツ実施率を高めると同時にオリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成を図ります。

【ボッチャ】

ヨーロッパで生まれた重度脳性まひ者若しくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツ。

【ゴールボール】

第二次世界大戦で視覚に傷害を受けた傷痍軍人のリハビリテーションの効果を促進するために考案されたスポーツ。



【H29の取組み】

体験教室及び指導者養成講座の開催

★ボッチャ・ゴールボール
体験教室・指導員養成講座
1,088千円

※【予算事業】

東京オリンピック・パラリンピック気運醸成（スポーツイベント等）



障害者スポーツ体験等の実施

（予算額 4,293千円）

オリンピック・パラリンピックの興味・関心を高めていくために、新宿スポレク等での競技体験やパラリンピックを知っていただくためのイベントを実施し、2020年に向けて区民の気運醸成を図ります。

また、トップアスリートが所属する企業チーム等の練習会場として、区内スポーツ施設を提供し、区民が見学可能な「公開練習及び体験会」を実施します。練習の見学だけでなく、トップアスリートの直接指導による体験会を併せて実施することで、トップアスリートのすごさを肌で感じ、競技を応援する気持ちを高めていきます。

【H29の取組み】

パラリンピック競技種目体験イベントの実施（新規）

★障害者スポーツ体験（1000日前イベント）1,286千円

※【予算事業】東京オリンピック・パラリンピック気運醸成（スポーツイベント等）

オリンピック・パラリンピックの正式競技の公開練習及び体験会の実施（継続）

★トップアスリート練習見学・体験会 2,640千円

★新宿スポレクにおける体験会・講演会等 367千円

※【予算事業】新宿未来創造財団運営助成



ゴールボール女子日本代表
壮行会の様子



事業名	障害者理解教育の推進・英語キャンプの実施	予 算（ 案 ） の 概 要 75 ページ
予算額	20,886 千円（拡充） （前年度予算額 11,400 千円）	
取 材 先	教育委員会事務局 教育指導課長 横溝（電話 03-5273-3084） 教育委員会事務局 教育支援課長 高橋（電話 03-3232-1058）	

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の推進

障害者理解教育の推進

（予算額 10,000千円）

全校実施

障害者スポーツ体験を軸とした

障害者理解教育を推進します！

新宿区教育委員会では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、平成29年度から全ての区立小・中・特別支援学校で、障害者スポーツ体験を軸とした、障害者理解教育を推進し、児童・生徒が思いやりをもち、全ての人のにとってよりよい社会の実現をめざして行動できるようにするための教育を支援します。

【内 容】

区立小・中・特別支援学校において、下記の5つのパラリンピック競技の中から1種目を選択。

- ・車椅子バスケットボール
- ・ゴールボール
- ・シットینگバレーボール
- ・ブラインドサッカー
- ・ボッチャ

体験当日は、児童・生徒がパラリンピアンを含む選手から話を聞いたり、実際に種目を体験したりすることを通して、障害者スポーツや障害そのものについての理解を深める。



英語キャンプの実施

（予算額 10,886千円）

英語だけの環境に身を置く2泊3日の宿泊体験

英語キャンプを実施します！

新宿区教育委員会では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験し、外国人へのおもてなしや異文化・国際理解を深めるとともに、ボランティアとしての関わりを含めた様々な活動に取り組む素地・基礎を養うため、平成28年度より英語だけの環境に身を置く2泊3日の宿泊体験を実施しています。

【日 時】小学生の部 平成29年12月26日～28日

中学生の部 平成29年 8月16日～18日

【場 所】新宿区立女神湖高原学園

【募集人数】小学生の部 区立小学校 5・6年生 96名

中学生の部 区立中学校 1・2年生 45名

【内 容】Omotenashi English, Travel English, Shinjukurimpics!, Shinjuku Guidemap作り, etc.

